

# 第1学年 音楽科学習指導案

日時 平成30年10月11日(木)

学級 1年3組 男子13名、女子12名 計25名

場所 音楽室

授業者 宇津宮美奈子

1 題材名 「魔王」の音楽を形づくっている要素(音色、旋律、強弱、リズム)や歌唱と伴奏とのかかわりを感じ取り、よさや美しさを聴き味わおう

2 題材について

(1) 教材観

本題材は学習指導要領に示された指導事項のうち、第1学年の内容 B鑑賞 (1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」共通事項(1)ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」について指導を行うものとする。

今回取り上げた『魔王』(シューベルト作曲)は、シューベルトが18歳のときの作品で、ゲーテの詩の内容とシューベルトの音楽が一体化したすばらしい歌曲の一つである。何か不吉なことを予感させるような印象的な前奏と、登場人物によって変化する旋律や伴奏形、登場人物の心情変化も音楽で巧みに表現され、詩と旋律の結びつきを感じ取らせるには適した教材である。また、音色の変化で音楽表現の幅が広がることを示唆してくれる教材である。原曲はドイツ語であるが、要素や歌唱と伴奏とのかかわりを感じ取るために、日本語で歌われたものを使用した。曲の雰囲気を感じ取り、この歌曲がどのような旋律、リズムで作られ、さらにそれを表現するために歌手がどんな工夫をしているかということに着目しながら鑑賞を進めたい。

(2) 生徒観

生徒はこれまでの学習において音楽の授業に意欲的に取り組んでいる。歌唱をすることが好きな生徒も多いが、音楽を聴くことにも意欲的である。1学期はヴィヴァルディの「春」を聴き、聴いた音や旋律からイメージを膨らませ、ソネットと関連付けて鑑賞することができた。しかし、自ら感じたことを互いに交流し合う時間が少なく、他者の感じ方や考えから学び、より深く鑑賞するまでに至っていない。

それぞれが感じたことを自由に話し、お互いの考えを交流させることで音楽的理解を深めさせていきたい。

(3) 指導観

本題材のねらいは「魔王」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱、リズムなどの要素と歌唱や伴奏が織りなす曲想とのかかわりを感じ取り、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを聴き味わう能力を育てることである。教材曲の「魔王」は、ドイツリートの代表的な作品であり、詩と音楽の一体感を味わうことができ、また登場人物による旋律や歌手の声の音色の変化、伴奏の形の変化などがわかりやすく、共通事項を手がかりにしながら聴く活動が可能である。今回は歌詞や題名を最初に出さ

ず、音楽を手がかりに曲の理解を深めさせていきたい。したがって、この授業では伴奏と、登場人物の中でも「子ども」と「魔王」に焦点をあて、それぞれを比較聴取することで「旋律」「音色」「強弱」「リズム」の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取らせていく。また、それらの活動を通して学んだことを生かし、自分なりの価値判断をもって、曲のよさや美しさ、面白さを自分の言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさ、面白さを聴き味わう能力を育てたい。

(ユニバーサルデザインの視点から)

全生徒が取り組みやすくするためドイツ語と日本語のそれぞれで歌唱されたものを鑑賞させる。また、目に見えない音について表現しやすくするために、聴き取る旋律の部分を拡大楽譜や学習プリントに楽譜を載せ、視覚化に取り組む。

### 3 題材の目標

・「魔王」の音楽を形づくっている要素（音色、旋律、強弱、リズム）や歌唱と伴奏とのかかわりを感じ取り、よさや美しさを聴き味わう。

### 4 指導と評価の計画（3時間扱い）

時	学習活動	評価規準との関連	指導事項及び共通事項
1 (本時)	○『魔王』を聴き、曲の雰囲気を捉える。 ○「子ども」の旋律に着目し、どのような特徴と変化があるか考える ○「魔王」の旋律に着目し、どのような特徴と変化があるか考える。	観点1-①  観点4-①	音色 旋律 強弱
2	○伴奏に注目し、音楽でどんな様子を表しているかを考える ・前奏 ・「子ども」と「魔王」の時の違い	観点1-①  観点4-①	旋律 強弱 リズム
3	○これまで学習してきた内容を生かし、自分が知覚・感受したことを鑑賞文として言葉で書き表す。お互いの鑑賞文を発表し合い、その上でもう一度鑑賞することでさらに音楽的理解を深める。	観点4-②	音色 旋律 強弱 リズム

#### 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①『魔王』の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱や構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 【観察、学習プリント】	①『魔王』の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。【学習プリント】 ②知覚・感受しながら、『魔王』の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、『魔王』の音楽の特徴を詩の内容と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽の良さを味わって聴いている。【学習プリント、批評文】

5 本時の指導

(1) 本時

『魔王』の「子ども」と「魔王」の音色や旋律の動き、強弱の変化を感じ取る。

(2) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点 ☆評価	UDの視点
導 入	1 学習課題の把握	・題名を告げずに「魔王」を聴く	・「ドイツ語の歌であること」「どんな内容か」等を想像させながら聴かせる。 ・ドイツ語はわからないが、音楽を聴いて感じたことを2～3人で話し合わせる。	共有化
	音色や旋律の動き、強弱の変化から、どんな気持ちや様子を表しているのか感じ取ろう			
展 開	2 「A (子ども)」に着目する  ※1回目⇒2回目⇒3回目⇒4回目を2～3回聴く。	・「A (子ども)」の部分に焦点を当てて聴き、音色や音の高さ、強弱にどのような特徴があるか探る。  ・聴き取ったことからどんな気持ちや様子が伝わるか考える	・何人か登場人物がいるのだけど、今日は「A」「B」の2人に焦点を当てて聴くことを告げる。  ☆音色、旋律、強弱や構造と曲想との関わりに関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしているか。	スモールステップ化  視覚化
	3 「B (魔王)」に着目する	・「B (魔王)」の部分に焦点を当てて聴き、音色や音の高さ、強弱にどのような特徴があるか探る。  ・聴き取ったことからどんな気持ちや様子が伝わるか考える。	☆音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っているか。  ・拡大譜や学習プリントにある楽譜を使い、今流れている部分を確認させる。  ・出されたものを「音色」「強弱」「旋律」に分類し、整理する。	共有化
終 末	4 まとめ	・学んだことを整理し、次の学習に生かす。	・学習した内容を黒板にまとめる。	共有化

(3) 評価基準

	Bと判断するポイント	Aの状況例	Cの生徒への手立て
<b>【音楽への関心・意欲・態度】</b> ①『魔王』の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	詩と声の表現から、音色、旋律、強弱について主体的に鑑賞しようとしている。	自分が感じ取ったことや考えたことを他者に伝えようとしたり、他の発言を集中して聞き、話し合いの学習を深めようと取り組んでる。	日本語の詩から大まかな内容をつかむ。
<b>【鑑賞の能力】</b> ①『魔王』の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	A、Bについて、学習プリントの「音色」、「旋律」、「強弱」の2つについて書いている。	A、Bについて学習プリントの「音色」、「旋律」、「強弱」のいずれにも書いている。	聴き取りやすい要素を示し、再度聴く。